

資料提供			
月日（曜日）	担当課	電話番号	担当者
7月24日（水）	危機管理政策課	088-621-2711	飯田・元山
	健康寿命推進課	088-621-2999	棚野・野崎
	感染症対策課	088-621-2935	井原・小山

### 危機管理会議の開催結果について

以下のとおり、危機管理会議を開催いたしましたので、お知らせいたします。

- 1 日 時：令和6年7月24日（水） 午後4時00分から午後4時15分まで
- 2 場 所：県庁3階 特別会議室
- 3 出席者：政策監、政策監補、危機管理部長、危機管理監、各部局主管課長など計24名
- 4 協議概要：熱中症対策のさらなる注意喚起について  
新型コロナウイルスの注意喚起について

#### ■徳島地方気象台からの報告

- ・向こう1週間の最高気温は32℃～34℃、湿度も80%程度と高い予想。
- ・さらに2週目も平年よりかなり高い予想。
- ・1ヶ月予想において、平年より気温が高い確率が80%である。

#### ■健康寿命推進課からの報告

##### 1. 熱中症の救急搬送等

- ・令和6年度「熱中症搬送者数」は、7月に入り急速に増えている。
- ・「熱中症警戒アラート」の発表日数が多い週は、搬送者数も多くなっていることから、気象情報を活用した予防行動が有効。
- ・「熱中症警戒アラート」は、環境省のメールやLINEで通知を受けられるほか、県公式「LINE」等を用い、情報発信を行っているので、県公式LINEの登録等についても周知する。
- ・熱中症の発生場所は、居宅が46%と最も多くなっており、家の中でも熱中症のリスクがあることから、昼夜を問わずエアコンを適切に利用。
- ・年齢区分別では、高齢者が63%と最も多くなっているように、高齢者や子どもは、体温調整機能が成人に比べて低く、熱中症の発症リスクが高いことから、周りの方がこまめな水分補給を呼びかけるなどのサポートが必要。
- ・大量に汗をかいたときの水分補給にはイオン飲料等を活用。

##### 2. 徳島県熱中症メッセージ

- ・7月11日に開催した「徳島県熱中症対策会議」で、「徳島県熱中症対策メッセージ」を発出しているが、暑さのピークを前に各種ガイドラインの活用を含め、重ねて周知を行う。

##### 3. 熱中症発症時の応急処置

- ・熱中症の発症に備え、「熱中症環境保健マニュアル2022」等を参考に、応急処置の方法や応急措置に必要な水や氷、経口補水液等の備えについて周知する。

#### 4. クーリングシェルターの状況

- ・クーリングシェルターは、「熱中症特別警戒アラート」が発表されたときに開放される暑熱避難施設。
- ・公共施設の他、薬局や観光地の商店、スーパーマーケット等の民間施設も含め、24市町村に167箇所が指定。
- ・今後、暑熱避難場所として利用可能な「県有施設」を、「徳島県版クーリングシェルター」として、場所や解放時間、利用条件などをまとめ県民に示すことを検討。

#### ■感染症対策課からの報告

##### 1. 新型コロナウイルス感染症の現在の感染状況について

- ・今月に入って患者数の増加の勢いが急速に早まり、定点当たり患者数は「前週の約1.6倍」となる「14,97人」と、「昨夏を超えるペース」で感染が拡大。
- ・年代別に見ると「70代」が最多で、「60代」、「40代」と続いており、主に「中高年層」で感染が拡大している。
- ・従来よりも感染力が強いとされる「K P. 3株」の流行や、暑さによる「免疫力の低下」に加え、「基本的な感染対策」に対する「意識の緩み」が感染拡大の原因という指摘がある。

##### 2. 入院医療の負荷状況の情報発信について

- ・新たな「注意喚起の取組」として、本県独自の「注意喚起メッセージ」に、「医療の負荷状況」を合わせて、県民の皆様を示すこととした。
- ・改定後の「注意喚起メッセージ」については、あくまでも医療機関への負荷の軽減を図るための「注意喚起の指標」であり、県民の皆様への行動制限の要請等を伴うものではない。
- ・医療機関の負荷の状況をより分かりやすく示し、改めて、県民の皆様の「感染対策への意識」を高めていきたい。

#### ■政策監から次のとおり指示

- 1 「徳島県熱中症対策メッセージ」が、県民の皆様には伝わるよう、マスメディアやSNSなど様々な手段を用いて発信すること。  
各部局においては、改めて関係機関に周知いただき、福祉関係者はもとより、スポーツ、農林水産、建築・土木、教育等の関係者を通じ、県民にメッセージを伝え、予防行動に繋げていくこと。
- 2 市町村においては、「クーリングシェルター」の指定が進められているが、利用可能な県有施設を、「徳島県版クーリングシェルター」として、熱中症特別警戒アラート発表の有無に関わらず、開放できるようにすること。
- 3 新型コロナウイルス感染症については、今後も感染拡大傾向が続くことが想定される。特に高齢者が感染した場合、暑さによる免疫力の低下で「重症化しやすい」との指摘もあり、本日改定した「注意喚起メッセージ」も活用し、県民の皆様へ注意喚起を適切に行っていただきたい。